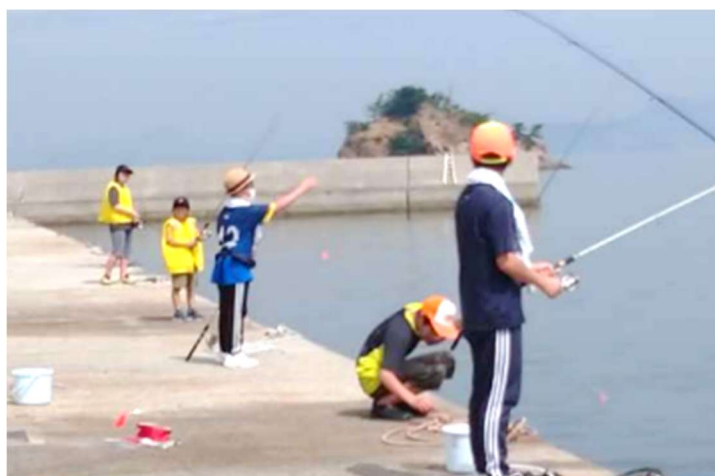


土曜教育活動



「魚島で釣りを満喫！」
(上島子ども体験教室【上島町】)

①	【新居浜市】土曜寺子屋教室	66
②	【西条市】コミュニケーションワークショップ	67
③	【上島町】上島子ども体験教室	68
④	【東温市】重信わんぱく教室	69
⑤	【伊方市】伊方土曜チャレンジスクール	70
⑥	【西予市】せいよキッズキッチン	71
⑦	【愛南町】ワクワク体験教室	72

土曜寺子屋教室【新居浜市】

～人間性豊かな子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 「礼を正し、場を清め、時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」づくり
- 経験豊かな教育会所属OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教育会館	対象学校区名	市内全小学校区	子どもの平均参加人数	46 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 40 日 日・休業日等 1 日	10 : 00 ～ 12 : 00 10 : 00 ～ 14 : 30	活動のべ 日数 42 日	協働活動支援員 のべ人数	60 人
協働活動サポーターのべ人数	30 人	教員OB	ボランティア のべ人数 95 人	教員OB	
参加者募集	各小学校を通じて募集要項と 受講申込書を配布		連携・協力 機関・団体	市内全小学校	

取組の概要

<主な取組内容>

- 子ども囲碁道場
囲碁のルールの基本から対局
- 書を楽しむ
毛筆の技術上達を目指す
- 読書の広場
読書活動、読み聞かせ
- 子ども卓球教室
卓球の基礎と楽しさを知る
- お茶席の作法
簡単なお点前のお稽古
- 子ども俳句教室
俳句の作り方の学習
- 子ども英語教室
英語の発音に慣れ親しむ



(子ども俳句教室での活動)

児童の感想

- ・卓球が、とても楽しかった。来年も続けて習いたい。
- ・成果発表会で、お点前ができて良かった。
- ・自分の俳句が選ばれると、少し恥ずかしいけどうれしい。

<特色ある取組>

●「成果発表会」の開催

例年11月に、土曜寺子屋教室で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋教室成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。習字、俳句、本の感想、英語の自己紹介、卓球教室活動感想展示のほか、囲碁対局、お茶会などをする。今年度は、ステージ発表はなかったが、ビデオや写真で日頃の様子を紹介したのが好評だった。



(「読書の広場」の作品展示)

事業を実施して

【成果】

- 学校の枠を越えてコミュニケーションができた。
- 学校の授業では触れる機会が少ない、お茶や囲碁、卓球などを体験できた。

【課題】

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成が求められる。
- 講座数が減少しており、新しい講座を開設する必要がある。

コミュニケーションワークショップ【西条市】

～地域ぐるみで子どもの成長を支える～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちの成長を支え、地域と学校の連携・協働による教育活動（コミュニケーション能力のスキルアップ）の推進
- 地域全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりの推進

活動場所	玉津公民館		対象学校区名	玉津小学校、新居浜市立垣生小学校、西条北中学校、西条高校、西条農業高校、新居浜商業高校、新居浜工業高校		子どもの平均参加人数	17 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	0 日			活動のべ 日数	10 日	協働活動支援員のべ人数	25 人
	日・休業日等	10 日						
協働活動サポーターのべ人数	25 人	保護者・公民館利用サークル会員			ボランティアのべ人数	13 人	保護者	
参加者募集	各学校でチラシを配布、掲出チラシにQRコードを付けることで、オンライン申請できるようにした。			連携・協力機関・団体	坊ちゃん劇場演劇スタッフ・公民館利用サークル			

取組の概要

<主な取組内容>

- 演劇を通してコミュニケーション能力のスキルアップ
演劇の基本要素を取り入れながら、ミュージカル風の演出を行い、体を使った表現活動を通して表現することの楽しさを知る。現役の舞台俳優から演劇のメリットを通して動くことにより、自分を解放する。



(ラストシーン)

- 「ヤゲ谷の化け猫退治」発表会

指導者が書いた西条市の民話を基にした脚本で、練習の成果を保護者や地域住民に向けて発表会を行った。子どもたちが緊張しつつも一生懸命に演じる姿に、観客一同から大きな拍手が送られた。演じた子どもたちの輝く目と誇らしげな姿が印象的だった。

児童・生徒の感想

- ・玉津校区内外の児童・生徒が参加していたので、演劇の練習を通して友達の輪が広がりました。
- ・高校生のお兄さんお姉さんと一緒に演劇ができて、とても楽しかったです。

保護者の感想

- ・初日は緊張と戸惑いで泣いていたのが、最後にはたくさんのお兄さんお姉さんと仲良くなり、行かせて本当に良かったです。また、来年皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。
- ・顔合わせの時に比べて、子どもたちがいきいき輝いていて10日間でこんなに変わるんだと感動していました。

<特色ある取組>

- 「自己表現力を磨く」

夏休みの集中開催の教室で、充実した時間を過ごすことができ、舞台発表会を通して自己表現力が高められた。



(出演者集合写真)

事業を実施して

【成果】

- 演劇の専門家による細やかな、レベルの高い指導を受けることで、個人の自己表現力が高められた。
- 異学年が交流し、一つの作品を作り上げることで、コミュニケーションの輪が広がった。

【課題】

- 募集の方法を工夫し、参加児童・生徒を増やしていきたい。

上島子ども体験教室【上島町】

～地域ぐるみでふるさとを愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 地域資源を活用した体験活動を実施し、子どもの健全育成、ならびに子どもの居場所づくりを進める。
- 特色、魅力ある教育プログラムを企画・実施し、子ども達の成長を支え、地域と学校の連携・協働による教育活動を推進する。

活動場所	町内各施設・野外等	対象学校区名	上島町内全小学校(4校)	子どもの平均参加人数	17 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 8 日 日・休業日等 2 日	9 : 30 ~ 11 : 30 9 : 30 ~ 11 : 30	活動のべ 日数	10 日	協働活動支援員 のべ人数
協働活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティア のべ人数	15 人	地域住民
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布	連携・協力 機関・団体	かみじまつながるプロジェクト実行委員会		

取組の概要

<主な取組内容>

- 絵の具で遊ぼう！
地域の方の協力を得て、絵画教室を開催。
子どもたちは作品づくりに熱中していた。
- みんなでドッチビー！
26人でドッチビーを体験。
大人数で楽しく体験できた！

児童・生徒の感想

【絵の具で遊ぼう】

水彩絵の具と油絵の具の違いが分かるようになった。

【みんなでドッチビー】

いつもは会えない他の学校の子と仲良くなれた！



(絵の具で遊ぼう！)



(みんなでドッチビー！)

<特色ある取組>

● 魚島の海で遊ぼう！釣体験！

上島町の弓削島から定期船で40分かかかる「魚島」まで遠征し、釣り体験を開催。はじめは、なかなか釣れなくて心配だったが、「時合」が来ると、面白いくらい釣れて大漁。子どもたちも魚が釣れて興奮していた。なかには釣りに慣れている子どももあり、初めての子に釣り方を教えたり、エサをつけてあげたりしていた。

自分たちで釣った魚は、釣りのあと講師の先生に調理して貰って実食。自分が釣った魚なので、よりいっそう美味しそうな様子だった。

釣るところから、食べるところまで魚釣りを体験し、子どもたちにとって身近にある海を、「釣り」という形で満喫した1日となった。



(魚島で釣りを満喫！)

事業を実施して

【成果】

- 普段、学校や家庭ではなかなかできない教室を企画することができた。
- 毎回違う内容、違う場所で実施することができ、参加する子どもたちも新鮮な体験ができている。
- 一緒に体験することで、子ども同士の交流が深まった。

【課題】

- 学校区によって参加者数に地域差がある。少ない地域にも浸透していくように広報活動を工夫していく必要がある。
- 地域の中の多様な経験や技能を持つ人材を活かした、特色・魅力のある教室を企画し継続して実施したい。

重信わんぱく教室【東温市】

～地域総がかりでわんぱくキッズを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 土曜日(休日)に地域における多様な学習や体験活動の機会の充実
- 体験活動を通じて児童に地域の自然や文化を再認識させるとともに、創造力や健全な心身を養う
- 地域間交流の促進

活動場所	中央公民館		対象学校区名	北吉井小学校・南吉井小学校・ 拝志小学校・上林小学校		子どもの平均 参加人数	26 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	9 日	各回により異なる	活動のべ 日数	11 日	協働活動支援員 のべ人数	20 人
	長期休暇	2 日	1泊2日(サマーキャンプ)				
協働活動サポ ーターのべ人数	33 人	地域住民、地域おこし協力隊、社会 人	ボランティア のべ人数	11 人	大学生		
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 市HP・SNSで周知		連携・協力 機関・団体	愛媛大学学生ボランティア			

取組の概要

<主な取組内容>

● 絵の具をつくるワークショップ

愛媛県美術館学芸員を講師に招聘し、絵の具をつくるワークショップを実施した。粒子の大きさや温度で色が変ることなど学びを深め、芸術に触れる機会となった。

● スポーツチャンバラに挑戦

年齢・性別に関わらず楽しめるニュースポーツの一種である「スポーツチャンバラ」を体験した。スポーツマンシップが重要視される競技であるため、基本的な礼儀作法や対戦相手にリスペクトを持つことなど精神的な面でも成長につながった。

● カーリング体験

イオテツスポーツセンターでウインタースポーツであるカーリングを体験した。近年オリンピック等で注目が集まっているスポーツでもあるため、参加児童だけでなく保護者からの関心も高く、見学する保護者が多く見受けられた。



(カーリング体験)



(スポーツチャンバラ)

児童の感想

【絵の具をつくるワークショップ】チューブから出てくる絵の具がどんな風に作られるのか考えたこともなかったので驚いた。

【スポーツチャンバラ】家を出るときは、嫌だなんて思いながら来たけどやってみたら楽しかった。安全に楽しめるスポーツだともっとみんなに知ってほしい。

【カーリング体験】得点圏にストーンが入って、チームの仲間たちや見学していたお母さんが喜んでくれてうれしかった。

<特色ある取組>

● 地域総がかりで子どもたちを育てる体制づくり

滑川地区で1泊2日キャンプをする「なめがわサマーキャンプ」では、愛媛大学ボランティア5名の参画があった。講師や会場として、「(株)伊予銀行」、「愛媛県美術館」「愛媛県総合科学博物館」「(株)四国電力」「イオテツスポーツセンター」「東温市生活研究協議会」など様々な企業や団体から協力を得て、多様な体験活動を実施した。



(銀行のおしごと体験)



(サマーキャンプ)

事業を実施して

【成果】

- 地域団体や地元企業の協力を得て、子どもたちの豊かな体験活動につながっている。
- 川内わんぱく広場と合同開催も年間5回程度行っており、地域間交流の場として良い機会になっている。

【課題】

- 近年では、応募者が定員の2倍を超えており、抽選を行い受講者を決定しているため、受講人数の拡充が喫緊の課題となっている。

伊方土曜チャレンジスクール【伊方町】

～たくさんの活動にチャレンジしよう～

◆活動の目的・理念

- 様々な体験的な活動、発展的な学習の機会の充実を図る。
- 子どもたちの健やかな成長を支援し、安全・安心な居場所づくりに努める。
- 子どもたちの郷土愛を育て、連携を深める。

活動場所	町内各公民館	対象学校区名	伊方町内小・中学校全て	子どもの平均参加人数	8 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日 日・休業日等	3 日 0 日	15 : 00 ~ 17 : 00 : ~ :	活動のべ 日数	3 日
協働活動サポ ーターのべ人数	3 人	教員OB		ボランティア のべ人数	3 人
参加者募集	各小・中学校を通してチラシを配布		連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館 等	
				協働活動支援員 のべ人数	0 人
				高校生 等	

取組の概要

<主な取組内容>

● 絵画教室「花とわたし」

第1回、第2回は、各自描きたい花を持参して、筆ペンやラッシュンペンで下書き、色付け作業。
第3回は、デカルコマニーと吹き流しで作成。最後は、作品を並べ意見交換を行った。



(持参した花を描写)



(作品を額装し意見交換)

<特色ある取組>

● 様々な手法を体験

デカルコマニー(絵の具を塗りつけた紙を半分に折り絵の具を転写させる方法)や、吹き流し(絵の具をストローなどで息を吹きかけて絵の具を流す方法)など様々な手法を体験。



(ストローを使った吹き流しの様子)

事業を実施して

【成果】

- 前年度参加者のリピート率は高く、好評を得ている。
- 町内にこのような教室がないため、絵画に興味のある児童・生徒にはよい機会となっている。

【課題】

- 参加者を増やすため、日程(開催時間等)や、会場までの配車等の検討が必要。
- 地域の人材を生かし、魅力のある活動を企画して実施する。

せいよキッズキッチン【西予市】

～料理ってたのしい！だいどころはしあわせをつくるばしょ～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが安心して過ごすことのできる居場所づくり
- 学校・家庭・地域の連携による教室づくり
- 土曜日等の豊かな教育活動を推進する

活動場所	教育保健センター、俵津・野村・土居地域づくり活動センター・三瓶保健福祉総合センター		対象学校区名	市内全小学校(12校)			子どもの平均参加人数	12	人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	9 : 00 ~ 13 : 00	活動のべ 日数	5 日	協働活動支援員のべ人数	20	人	
	日・休業日等	1 日	13 : 00 ~ 17 : 00						
協働活動サポーターのべ人数	0 人				ボランティアのべ人数	0 人			
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布し募集する		連携・協力 機関・団体	各小学校・食育推進計画栄養食育班					

取組の概要

＜主な取組内容＞

● 食育学習会「適塩で体を守ろう」

血管の長さや血液の量などをクイズ形式で学習したり、一日の塩分の摂取量や自分でできる工夫、また、実際にスープを飲んで塩分の違いなどについて学んだ。

● 調理実習

会場ごとに支援員が地産地消を意識したメニューを作りそれに沿って調理をする。調理器具や包丁の使い方、材料の切り方、調理法について学び、班で協力しながら調理し交流を深めた。



(食育学習会)

児童の感想

- ・ どれだけの塩分を一日に食べると良いか分かって良かった。
- ・ 味がついているものには、醤油などをかけたら悪いことが分かった。
- ・ 塩分は年齢によって、良い量に違いがあることが分かった。
- ・ 野菜の切り方が難しかった。
- ・ 玉ねぎを切るときに目が痛かった。また、炒めるのが難しかった。
- ・ トッピングで顔を作って楽しかった。



(調理実習)

＜特色ある取組＞

● 食育学習会(適塩で体を守ろう)

- ・ 一日の塩分摂取量について、年齢や男女差について学ぶ。
- ・ 「お菓子などを一回に全部食べない」「ラーメンなどのスープは全部飲まない」「食べ物の塩の量を確かめる」「ソースやしょうゆをかける量」「味のあるものにはかけない」など具体的に自分で工夫できることを学ぶことができた。
- ・ 実際に減塩とそうでないスープを飲み比べ、味についてみんなで感想を述べた。



(スープの飲み比べ)

事業を実施して

【成果】

- 日頃、自分でできる適塩について学ぶことができた。自分で調理してみても難しさに気づき、家の人への感謝の気持ちを持つことができた。

【課題】

- 低学年の参加者が多いが、どの施設も調理台が高く、調理しにくい。
- 参加者の増加。

ワクワク体験教室【愛南町】

～愛南町を愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちに郷土愛を醸成する。

活動場所	活動によって異なる		対象学校区名	愛南町全小中学校		子どもの平均 参加人数	11	人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	3	活動によって異なる	活動のべ 日数	6	土曜教育支援員 のべ人数	8	人
	日・休業日等	3						
協働活動サポ- ーターのべ人数	15	人	元教員、元公務員 等		ボランティア のべ人数	4	人	
参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを 配布		連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館 等				

取組の概要

<主な取組内容>

● 風力発電のヒミツに挑戦しよう



(風力発電のしくみを学んでいる様子)



(風車)

● スラックラインに挑戦しよう



(スラックライン活動の様子)

感想

風力発電のしくみが分かったので良かった。
風車を近くで見たけど、すごく大きかったので
びっくりした。

感想

最初は怖かったけど、少しずつできるようになった
ので、とても楽しかった。
ロープの上でバランスをとるのが難しかった。

<特色ある取組>

● 篠山の自然を楽しもう

町内にある篠山(標高約1,065m)への登山を行った。
一帯は国立公園、県立自然公園に指定されており、アケボノツツジなどの
自然植物の宝庫で、古くから山岳信仰の霊地として知られた山である。
子どもたちは、環境省自然保護管から害獣から篠山の自然を守るための
取り組みや自生する植物などについて、クイズ形式で学びながら、頂上を
目指した。



(篠山の自然を観察する子どもたち)

事業を実施して

【成果】

- 様々な体験ができ、楽しく活動できた。
- 学校や学年の違う児童との交流を深めることが
できた。
- 愛南町の自然に子どもたちを触れ合わせること
ができた。

【課題】

- スタッフの拡充や育成を進めていく必要がある。